

日薬連の連携先の一般社団法人官民共創HUB主催のオンラインセミナーのご案内です。

どなたでも無料でご参加いただけるセミナーで、政府渉外などの活動の基本となる行政の内部の動きなどを元厚生労働省職員が解説するものです。会員企業の皆様にもご案内いただけましたら幸いです。

ご都合が合いましたら、ぜひご視聴ください。

■ イベント概要

「官民で進める政策のつくり方講座」第2回

日時：2026年6月26日（金）12:00-13:00

テーマ：政策のスケジュールと提案のコツ

講師：横山 悠里恵（株式会社千正組・元厚生労働省職員）

形式：オンラインセミナー（Zoom配信、参加無料）

お申込み（Peatix）：<https://seisakujinnzai-2606.peatix.com/>

実効性のある政策づくりのためには、官の政策的な知見と民間や政策の現場で見いだせるアイデアとの融合が重要ですが、行政が政策を検討して確定するまでには、様々な手続きやプロセスがあります。

民間からの提案もそのスケジュールと一連の流れを念頭に置くと効果的です。

第2回では、政策の代表的な手段である「予算」を中心に、全体のスケジュールや「概算要求」など節目となるイベントを見ていきます。

この時期には「骨太方針」などのキーワードを報道でもよく耳にしますが、どんな位置づけの文章なのかなど、そもその説明を聞く機会は意外と少ないのではないのでしょうか。

骨太方針などが政策決定プロセスの中でどんな意味合いを持つのか解説します。

※ 5月15日（金）開催の第1回の概要はこちらの記事をご覧ください。

<https://note.com/yasusensho/n/nb0dff0ae41f1>

各回は独立しており、今回のみ参加でも全く問題ございません。

■ 「官民で進める政策のつくり方講座」の概要

本講座では、政策の背景や行政への理解の基盤となる

- 行政官の思考回路・行動原理（なぜその判断がなされるのか）
- 政策立案のプロセスと制度設計の考え方（誰がどう決めているのか）
- 企業が戦略的に行政と対話するためのポイント（どう伝えるのか）

といったテーマを、官民双方の立場で官民連携を続けてきた千正組メンバー（元官僚・元自治体職員）が、実務視点で分かりやすく解説します。

特に、企業、業界団体、研究機関等の

- サステナビリティ推進部・ESG／CSV担当
- 政府渉外・ルールメイキング・公共政策連携を担う部門
- 社会課題解決型事業やインパクト創出に取り組む事業部門

の方々にとっては、「なぜ提案が政策に反映されないのか」「行政とどのタイミングで、どのような関係構築が有効なのか」「どう説明したら刺さるのか」といった日常的な問いにお答えする内容となっています。

■登壇者紹介

横山 悠里恵

2010年厚生労働省入省。労働政策・年金・地方創生分野を中心に、法令改正・施行、解釈によるルールの明確化、予算事業の立案など様々な政策の企画・運営を経験。出向先の内閣官房にて多数の省にまたがる政策を取りまとめた経験も多く、政府内の様々な意思決定プロセスを知る。

2021年7月末に大手総合コンサルティングファームに転職し、マネージャーとして中央官庁や地方自治体の事業を受託・実施。中央官庁の中と外の両方の経験を活かして、政策の流れを読み解き、官庁と丁寧に対話・連携をしながら事業を進めるのが強み。2025年4月に千正組に参画し、議連の運営支援、企業の事業環境にインパクトを与える政策の研究、クライアントと行政との対話支援、官民連携イベント企画運営などを担当。

<https://note.com/yasusensho/n/n1b304724efbc>